

PCR

IBS COACH

検体採取車



ご利用のご提案

1. ウォークスルータイプバス

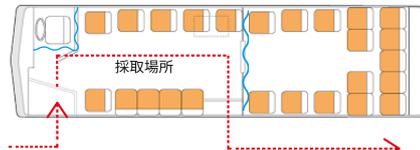
2. いつでもどこでも

3. 感染症対策もしっかり！

ウォークスルータイプバス（路線型）の他、大型・中型・マイクロなど様々な車種でご要望にお応えいたします。バスの機動力を活かし複数の会場を巡回したり、病院などから離れた山間部にも設置することが可能です。

ウォークスルーで感染症対策もしっかり！

- ウォークスルータイプバスは特別な抗ウイルス、抗菌処理済みです。消毒用のアルコールやその他各種除菌液などご用意。
- アクリル板やビニールシートで飛沫感染防止対策済み。
- 車内の換気もしっかり行います。
- 1日ごとに徹底した車内除菌清掃とオゾンによる定期的な殺菌処理を行っています。



路線バスタイプは前後にそれぞれ出入り口があり一方通行にできます。

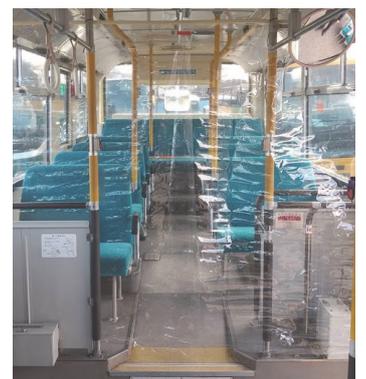


■車内中央

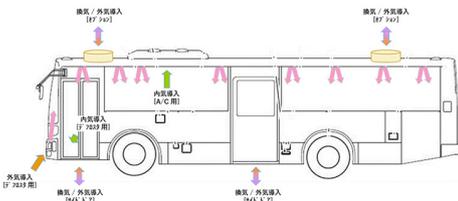


車内中央に作業用のテーブルを置くことができます。

■車内後方



後方は資材置き場や待機場所として利用できます。



バスは窓を開けていても5分程度で車内全ての空気が入れ替わります。また、窓やドアを開ければさらに空気の入れ替えが促進されます。

お問合せ先

株式会社ジェイワールドトラベル

住所：東京都港区北青山3-2-5 NH青山ビル8F

TEL：03-3402-9955 e-mail：opt@jw-trvl.co.jp

新型コロナウイルスPCR検査 循環型採取のご提案

昨今、組織内で新型コロナウイルスによるクラスターがひとたび発生すると、顧客の信用失墜や生命の危機まで及ぶことがあり、業務に大きな支障をきたす恐れがあります。

そこで、定期的なPCR検査の実施により、「感染していないこと知る」「無症状でも感染した場合は早く知り、感染を拡大させない」「発症していた場合でも適切な早期治療ができる」ことを実現するための組織防衛策を取ることが極めて重要なことと考えております。

このような課題を抱えていらっしゃる担当者の方におすすめです

- ✓ 何処に相談、依頼すればよいかわからない。
- ✓ 職員の方が多忙で、病院や検査センターに行く時間が取れない。
- ✓ 対象となる職員が多く、PCR検査の手配が煩雑で実施に踏み切れない。
- ✓ 個別に実施すれば、時間や経費がかかるので、組織として効率的に管理ができない。

PCR検査バスによる出張型PCR検査のメリット

- 職場で、登録衛生検査所(J-VPDラボラトリー)による精度の高いPCR検査サービスを提供
 - 検体採取後、衛生検査所登録されている検査所で検査を行い、翌日に検査結果をWEBで報告
 - 施設の駐車スペースをお借りし、多数の職員の方に同時に、安全に検体採取が可能
- 職場で、多数の方に、安全に、迅速にPCR検査ができます。
- 施設の外で採取を行うことにより、感染拡大のリスクを軽減できます。
- 専門の医療従事者の指導により、安心して適正な検体採取が可能です。
- 当日参加できない方にも、自己採取キットで検体採取し、返送して頂ければ検査が可能です。



J-VPD ラボラトリー

登録認可証：28 新保衛医第177号

当ラボラトリーは、指導監督医の指示・指導の下、業務を実施。国家資格である臨床検査技師の業務監督には精度管理医を配し、各工程には標準手順書を整備。過誤やヒューマンエラーが生じないよう、品質管理や精度管理を厳格に行っています。感染症対策には、国立感染症研究所のバイオハザードの安全基準を遵守しています。

- 病院やクリニックからPCR検査を受託し、医療従事者からも信頼を得ています。
- PCR検査の試薬は、厚生労働省が発表している陽性・陰性一致率100%の診断用試薬を使用しています。
- 英国や南アフリカの変異種にも影響されずウィルスの検出が可能です。
- オリンピック競技団体などのスポーツ団体からPCR検査を受託しています。
- 厚生労働省が発表した「自費検査を提供する検査機関一覧」に掲載されているラボ（検査所）です。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-jihikensa_00001.html
- 政府や地方公共団体のPCR検査プロジェクトや車両製造工場の従業員の定期検査等の提案活動も行っています。

■J-VPD株式会社 <https://jvpdlab.com>

■J-VPDラボラトリー <https://jvdpclab.com>